

発達段階別自立支援確認シート

年齢		成人期(18歳以上～)
対象者	移行支援プログラム	発達課題 意思決定を行うために必要な情報を自ら得ることが出来、正しい知識をもてる
本人	自己支持	自分の予後、これからの治療方針、起こり得る合併症について理解し説明できる
		薬の効果、副作用がわかる
		今後どのような検査が必要になるのか理解している
	自立した医療行動	治療に関して自分の意見を医療者に伝えたり、治療に関して自ら選択できる
		残薬の把握や必要な薬の依頼が出来る
		お薬手帳の管理が出来る
		20歳以降に使用する保険について知っている
		診察時に医師に質問したり自分の意見を言える
		病態悪化時の対応ができる
		検査データや診療情報などを自己で管理できる
		生活環境の変化（一人暮らしや結婚での引っ越し）に伴い病院を探し医師と相談できる
		公的支援の受給や医療保険加入で具体的な行動に移れるように情報収集できる
		学校、就職先での必要な書類を医師へ依頼できる
	心理的支援	自分の病気について、友人、上司、恋人などに将来起こり得る合併症も踏まえて説明でき、協力してもらいたいことが言える
	健康と ライフスタイル	旅行時に必要な健康管理について考え、医師に相談できる
		通院の必要性を理解し通院に合わせた社会生活の調整が出来る
		飲酒や喫煙のリスクを理解し健康的なストレス対策について考えられる
		日常生活の注意点を理解し生活を送ることができている
	教育的・職業的計画	病気管理を踏まえ今後の目標を明確にできる
		病気や治療を踏まえた進路選択ができる
		自分の体調にあった職場に就労できる
	性的健康	妊娠、出産の影響について医療者に相談できる
		妊娠の可能性がある場合医療者に相談できる
		自分の病気と性、生殖機能について関係性があるか医療者に質問できる

保護者	自己支持	自分の病気について説明できるよう診療後に親子で話す場を持ちましょう
	自立した医療行動	通院が継続できるよう見守り、必要時支援しましょう
		治療の選択の際は子供の意見を尊重した話し合いを持ちましょう
		今まで実施してきた病態悪化時の対処方法を実際の場面で子どもに伝えましょう
		学校等への書類は子どもから医師へ依頼するようにしましょう
		検査データなどの保管方法について子ども自身で管理できるようにしましょう
		成人病院を選ぶ際は子どもの意見を尊重しましょう
		成人後は医療費、医療保険が変更になることを子どもに伝えましょう
	心理的支援	診療後に医師よりどのような説明を受けたのか本人が話せるよう促しましょう
		診療に関し、誰にどのように伝えるか子どもと話し合っておきましょう
		周囲にどのような協力を得たらいいか子どもと話し合っておきましょう
	健康と ライフスタイル	日常生活の注意点について子どもが遂行できているか見守り、時には支援しましょう
	教育的・職業的計画	病気や治療を踏まえた連絡先について話し合い医師への相談も促しましょう
	性的健康	妊娠、出産の注意点を子どもと一緒に考えましょう